

青少年指導員の活躍にクローズアップ 第1回

中学生を見守る推進員

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会 広報研究部会

★大矢部中学校区：高橋 牧生さん★

○…地域ではPTA役員、学校評議員、防災（震災時避難所運営委員会）などを担当されて幅広く活躍されています。なお青少年問題にも関わり、こと青少年育成に関しては熱いものを感じるものがあります。そのような人柄が青少年育成推進員にと連合町内会長から推薦されたのでしょう。



第13回中学校対抗ウォークラリー大会から

○…協議会活動においては、4研究部会の中の育成研究部会（中高生の体験活動や交流事業を企画）に所属し、中心的役割を担っております。部会員の中でも人望が厚く誰からも信頼されています。

○…昨年12月の13回ウォークラリー大会ではコースの設定から関わり、下見段階ではひそむ危険要因やコースアウトしそうな箇所などの安全性の確保に努められていました。しかし準備段階で万全を期して、臨んだのだがそうは問屋が卸さなかった。

○…大会本番では想定外の問題が起き、スタッフは孤軍奮闘でその対応に四苦八苦、そこに高橋さんが登場で難を乗り越え、中学生に及ぼす影響を未然に防ぐことができました。

○…「いろいろな問題が出たが、今後に向けて改善をしていかねば…」（高橋さん談）

第1回 事務局が行く ～ライブ・イン・山北～

子どもたちの集える場所を！寒さも吹き飛ば、高校生の熱い冬

12月16日(日)に山北町立生涯学習センターで山北町、近隣市町の高校4校（県立山北高等学校、県立大井高等学校、県立足柄高等学校、立花学園高等学校）、全13バンドが参加する、「ライブ・イン・山北」が行われました。

高校生の輝くステージ

高校生にとって、普段の発表は定期演奏会など校内規模のものが多く、ライブ・イン・山北は学校外で演奏ができる、かなりのビッグイベントです。この日を楽しみにしていた様子で、練習を積んできており、本番直前は「緊張しておなかが痛い」と緊張している生徒の姿もありました。

しかし、ライブが始まると、堂々としたパフォーマンスで会場を魅了し、緊張してドキドキしていた姿が、ま

るで別人のように、皆それぞれが輝いていました。

出演後には、「緊張したけど楽しかった」、「失敗した、次に活かしたい」など、とても良い経験、思い出になった様子でした。

支えるみんなの想い、集える場所をつくるために

この舞台裏には、22年間続けている山北町青少年指導員、山北町の運営があります。指導員会長は、「子どもたちの集う場所がなく、未来をつくる子たちに場所を提供したいという想いから始まり、会長や指導員が代わってもその想いは受け継がれ、22年続いている」と語ってくれました。

また、地域の結びつきも忘れてはいけません。県立山北高等学校PTAの役員の方々は、高校生のおなかを満たし、パワーを授ける美味しいカレーを提供しています。「カレーを食べながら高校生と話すのが楽しい」と、PTAの皆さんも存分に楽しんでいる様子でした。

高校生の集える場所をつくり、そして高校生自身が輝けるイベントを取材することができ、とても心が熱くなりました。



迫力のあるパフォーマンス！



カレーを食べてパワー充電

指導員紹介・取材希望の場合は県青少年課（TEL 045-210-3848）までお問合せください